



目次

組織管理	4
Organizationを追加	4
Organizationを編集	5
Organizationを削除	6
Organizationにデバイスを追加	6
よくある質問	8

Grandstream Networks, Inc.

GDMS Organization Management

ユーザーガイド



表目次

表1: Organizationを追加..... 5

図目次

図1: 複数のOrganizationとアドミニストレータ..... 4
 図2: Organizationを追加..... 5
 図3: Organizationを編集..... 6
 図4: Organizationにデバイスを追加..... 7

組織管理

ユーザーが複数の従属組織内のデバイスの管理を行う場合、ユーザーは複数の組織を構成する可能性があります。それらの組織をアサインする対象は個々の管理を行う複数のユーザーになります(カスタマーエンタープライズ、サブカンパニー等)。デバイスとSIPアカウントおよび他のパラメータは、異なる組織間に分類されます。特定の組織のデータは、パーミッションのあるアドミニストレータにより閲覧および管理が可能です。

複数のOrganizationとアドミニストレータ:

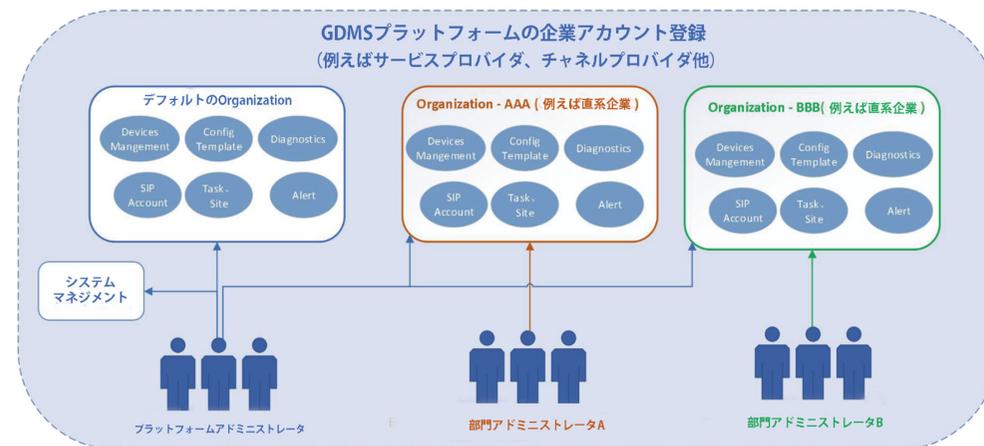


図1: 複数のOrganizationとアドミニストレータ

Organizationを追加

ユーザーはOrganizationを構成可能ですが、そのユーザーにパーミッションがある場合になります。

ユーザーは、カスタマーまたはサブカンパニーをOrganizationと見なすことができます。

1. ページ左側のメニューで、System管理内のUser管理から“Organization”タブを選択し、右上の“Add Organization”ボタンをクリックします。
2. Organizationの情報入力画面が下図の様に表示されます:

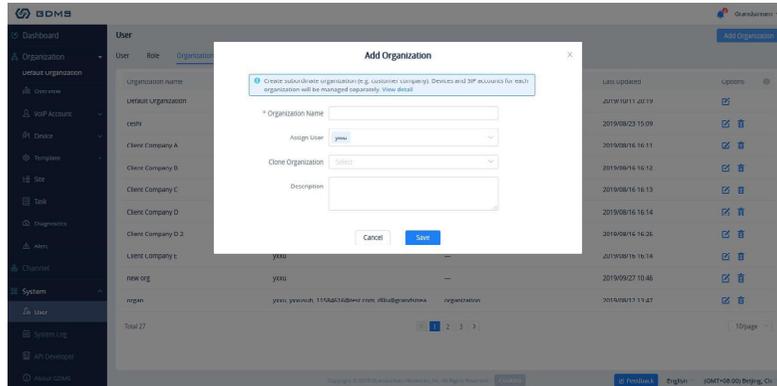


図2: Organizationを追加

表1: Organizationを追加

Organization Name	Organizationの名称を入力します。
Assign User	Organizationを管理するパーミッションのあるユーザーを選択します。
Description	Organizationの詳細説明を入力します。

3. Saveボタンをクリックし、GDMSプラットフォーム内にOrganizationを保存します。
4. 本システムでは、新たに作成されたOrganizationへデフォルトを切り替えることにより、ユーザーは管理用の新規作成Organizationとしてデバイスを追加出来ます。

Organizationを編集

ユーザーは、いつでもOrganizationの情報を編集可能です。

1. ページ左側のメニューで、System管理内のUser管理から“Organization”タブを選択し、アカウント内の全てのOrganizationを表示します。
2. 対象とするOrganization名の  ボタンをクリックし、編集ページにアクセスします。ユーザーは以下の図の様にOrganization Name、Assign User、Descriptionの編集が可能です：

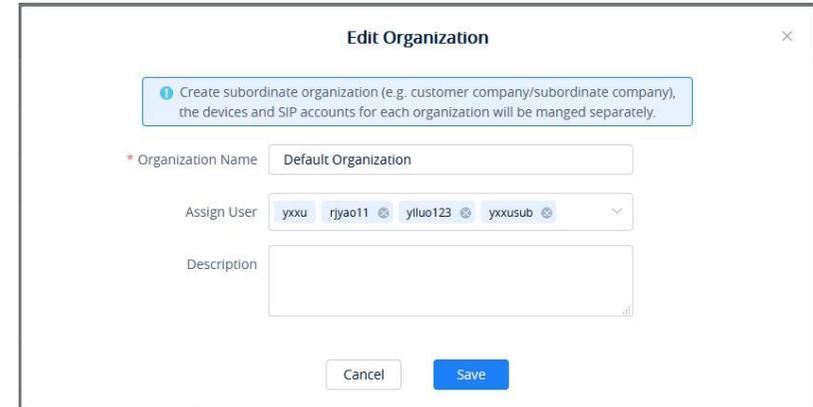


図3: Organizationを編集

Organizationを削除

1. ページ左側のメニューで、System管理内のUser管理から“Organization”タブを選択し、アカウント内の全てのOrganizationを表示します。
2. 対象とするOrganization名のDelete Organizationボタンのクリックにより、確認後完全に削除をされ、SIPアカウント、テンプレート、タスク、診断履歴およびOrganization内の他のデータが削除対象となります。

注:

Organization内にデバイスが含まれている場合は、Organizationの削除は行えません。Organizationを削除する前に他のOrganizationへデバイスを移管してください。

Organizationにデバイスを追加

ユーザーは、GDMSアカウントをカレントのOrganizationに切り替える必要があります。“Device”管理モジュールをクリックし、次にDevice Listにアクセスしデバイスを追加します。

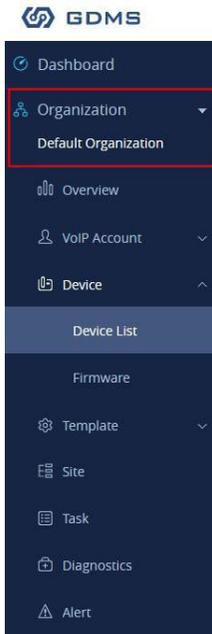


図4: Organizationにデバイスを追加

更に対象Organization内にSIPアカウント、テンプレート或いはSiteを追加します。この操作を行う場合は、ユーザーは特定のOrganizationへの切り替えを行う必要があります。

よくある質問

以下の表によりOrganizationとSiteの主な相違点を説明します。

	Organization	Site
概要	ユーザーによる利用目的として、複数のOrganizationを構成し、異なるエンタープライズ内のユーザーが個々にデバイスの管理を可能にする場合	ユーザーの利用目的は、同一エンタープライズ内のユーザーが内部的にデバイスを管理する上で異なるレベルとグループを構成する場合
Level仕様	1階層のみ	Siteとして10階層迄
権限	サポート対象は、ユーザーが異なる権限を異なるユーザーへアサインし、デバイスの管理が可能。異なるOrganization内のデータは、独立しています。 例) ユーザーがデバイスにSIPアカウントをアサインする場合は、そのユーザーはカレントのOrganization内のSIPアカウントのみ選択が可能	サポート対象外として、ユーザーは従属するユーザーへ異なる権限をアサインすることは出来ません。
シナリオ	ユーザーが複数の従属企業を包括する場合は、従属の1社を1つのOrganizationとして管理出来、また従属企業のアドミニストレータに管理権限のアサインが可能	1. ユーザーは、デバイスを異なるグループに分類し、特定のグループに対してデバイスの設定/再起動/更新が可能（管理の異なる部門または地区等） 2. この機能の用途は、デバイスを異なるグループに分類をすることであり、アドミニストレータは各ユーザーに異なる権限をアサインすることは出来ません。